

## 第 286 回 杏林大学医学部附属病院治験審査委員会 会議の記録の概要

開催日時	2022年5月11日(水) 14:30~15:20
開催場所	杏林大学医学部附属病院 第2病棟D棟4階会議室
出席委員名	成田雅美、要 伸也、長濱清隆、大塚弘毅、吉田 正、小河百合子、首藤祐子、池田優子、関口久美子、天良 功、田中長文、執行秀幸、東 克巳

前回の議事要旨及び会議の記録の概要の確認がなされ、了承された。

2022年4月30日現在の治験実施状況の確認がなされ、了承された。

<議題及び審議結果を含む主な議論の概要>

議題1 サノフィ株式会社の依頼による早期乳癌患者を対象とした SAR439859 の第 III 相試験 (受付番号: 2204)

治験の実施の妥当性について審議した。

審議結果: 承認

議題2 MSD株式会社の依頼による非小細胞肺癌の未治療患者を対象とした MK-3475 とプラチナ製剤併用化学療法を比較する無作為化非盲検第III相試験 (受付番号: 1415)

人事異動に伴う治験責任医師の変更について、適格性の観点から審議した。

治験分担医師の変更に基づき、引き続き治験を継続して行うことの妥当性について審議した。

審議結果: 承認

議題3 小野薬品工業株式会社の依頼による第 I 相試験 (受付番号: 1525)

治験実施計画書別冊の変更に基づき、引き続き治験を継続して行うことの妥当性について審議した。

審議結果: 承認

議題4 小野薬品工業株式会社の依頼による膠芽腫を対象とした ONO-4538 (ニボルマブ) の第III相試験 (受付番号: 1606)

治験担当者の氏名記録の変更に基づき、引き続き治験を継続して行うことの妥当性について審議した。

治験期間が1年を超えるため、引き続き治験を継続して行うことの妥当性について審議した。

審議結果: 承認

議題5 中外製薬株式会社の依頼による肺癌患者を対象とした MPDL3280A (Atezolizumab) の第 III 相試験 (受付番号: 1607)

治験期間が1年を超えるため、引き続き治験を継続して行うことの妥当性について審議した。

審議結果: 承認

議題6 武田薬品工業株式会社の依頼による潰瘍性大腸炎及びクローン病患者を対象とした Vedolizumab 皮下注製剤の長期安全性及び有効性を検討する第 3b 相試験 (受付番号: 1611)

安全性情報等に関する報告書に基づき、引き続き治験を継続して行うことの妥当性について審議した。

治験実施計画書別紙、モニタリング担当者一覧の変更に基づき、引き続き治験を継続して行うことの妥当性について審議した。

審議結果: 承認

議題 7 MSD 株式会社の依頼による早期非小細胞肺癌患者を対象とした MK-3475 (Pembrolizumab) の第Ⅲ相試験 (受付番号: 1617)

安全性情報等に関する報告書に基づき、引き続き治験を継続して行うことの妥当性について審議した。治験実施計画書別紙の変更に基づき、引き続き治験を継続して行うことの妥当性について審議した。

審議結果: 承認

議題 8 中外製薬株式会社の依頼による筋層浸潤性尿路上皮癌患者を対象としたアテゾリズマブの第Ⅲ相臨床試験 (受付番号: 1621)

治験実施計画書国内追加事項、治験実施計画書国内追加事項別紙の変更に基づき、引き続き治験を継続して行うことの妥当性について審議した。

審議結果: 承認

議題 9 アッヴィ合同会社の依頼による潰瘍性大腸炎患者を対象としたウパダシチニブ (ABT-494) の長期安全性及び有効性を評価する第Ⅲ相多施設共同非盲検継続投与試験 (受付番号: 1625)

安全性情報等に関する報告書に基づき、引き続き治験を継続して行うことの妥当性について審議した。

審議結果: 承認

議題 10 アッヴィ合同会社の依頼による M14-431 試験又は M14-433 試験を完了したクローン病患者を対象としたウパダシチニブ (ABT-494) の有効性及び安全性を評価する多施設共同無作為化二重盲検プラセボ対照維持療法及び長期継続投与第Ⅲ相試験 (受付番号: 1803)

安全性情報等に関する報告書に基づき、引き続き治験を継続して行うことの妥当性について審議した。

審議結果: 承認

議題 11 中外製薬株式会社の依頼による前立腺癌患者を対象とした R05532961 (Ipatasertib) の第Ⅲ相試験 (受付番号: 1704)

安全性情報等に関する報告書に基づき、引き続き治験を継続して行うことの妥当性について審議した。

審議結果: 承認

議題 12 ギリアド・サイエンシズ株式会社の依頼によるクローン病患者を対象とした Filgotinib の第Ⅲ相試験 (受付番号: 1716)

安全性情報等に関する報告書に基づき、引き続き治験を継続して行うことの妥当性について審議した。

治験実施計画書、治験実施計画書別冊、被験者の健康被害の補償について説明した文書の変更に基づき、引き続き治験を継続して行うことの妥当性について審議した。

審議結果: 承認

議題 13 ギリアド・サイエンシズ株式会社の依頼によるクローン病患者を対象とした Filgotinib の継続投与試験 (第Ⅲ相試験) (受付番号: 1717)

安全性情報等に関する報告書に基づき、引き続き治験を継続して行うことの妥当性について審議した。

治験実施計画書、治験実施計画書別冊、同意説明文書、被験者の健康被害の補償について説明した文書の変更に基づき、引き続き治験を継続して行うことの妥当性について審議した。

審議結果: 承認

議題 14 ギリアド・サイエンシズ株式会社の依頼による潰瘍性大腸炎患者を対象とした Filgotinib の継続投与試験 (第Ⅲ相試験) (受付番号: 1719)

安全性情報等に関する報告書に基づき、引き続き治験を継続して行うことの妥当性について審議した。  
審議結果：承認

議題 15 株式会社ヘリオスの依頼による脳梗塞患者を対象とした HLCM051 の第 II/III 相試験（受付番号：1725）

治験製品概要書、治験製品概要書(補遺)、治験実施計画書別紙の変更に基づき、引き続き治験を継続して行うことの妥当性について審議した。

審議結果：承認

議題 16 アッヴィ合同会社の依頼によるクローン病患者を対象として、risankizumab の有効性及び安全性を評価する多施設共同無作為化二重盲検プラセボ対照 52 週間維持療法試験及び非盲検継続投与第 III 相試験（受付番号：1806）

安全性情報等に関する報告書に基づき、引き続き治験を継続して行うことの妥当性について審議した。

治験実施計画書分冊の変更に基づき、引き続き治験を継続して行うことの妥当性について審議した。

治験期間が 1 年を超えるため、引き続き治験を継続して行うことの妥当性について審議した。

審議結果：承認

議題 17 アッヴィ合同会社の依頼による中等症から重症の活動性潰瘍性大腸炎患者を対象とした risankizumab の有効性及び安全性を評価する第 II/III 相多施設共同無作為化二重盲検プラセボ対照導入療法試験（受付番号：1814）

安全性情報等に関する報告書に基づき、引き続き治験を継続して行うことの妥当性について審議した。

治験実施計画書分冊の変更に基づき、引き続き治験を継続して行うことの妥当性について審議した。

審議結果：承認

議題 18 アッヴィ合同会社の依頼による潰瘍性大腸炎患者を対象として risankizumab の有効性及び安全性を評価する第 III 相多施設共同無作為化二重盲検プラセボ対照 52 週間維持療法試験及び非盲検継続投与試験（受付番号：1815）

安全性情報等に関する報告書に基づき、引き続き治験を継続して行うことの妥当性について審議した。

治験実施計画書分冊の変更に基づき、引き続き治験を継続して行うことの妥当性について審議した。

審議結果：承認

議題 19 日本イーライリリー株式会社の依頼による潰瘍性大腸炎患者を対象とした LY3074828 の第 III 相試験（受付番号：1819）

安全性情報等に関する報告書に基づき、引き続き治験を継続して行うことの妥当性について審議した。

同意説明文書の変更に基づき、引き続き治験を継続して行うことの妥当性について審議した。

審議結果：承認

議題 20 MSD 株式会社の依頼による胃癌を対象とした MK-3475 の第 III 相試験（受付番号：1820）

治験実施計画書別紙の変更に基づき、引き続き治験を継続して行うことの妥当性について審議した。

審議結果：承認

議題 21 MSD 株式会社の依頼による BRCA 変異陰性の進行上皮性卵巣癌の未治療患者を対象としたペムブロリズマブ及び化学療法併用投与後に維持療法としてペムブロリズマブ及びオラパリブ併用投与又はペムブロリズマブ単独投与の第 III 相試験（受付番号：1827）

安全性情報等に関する報告書に基づき、引き続き治験を継続して行うことの妥当性について審議した。  
説明文書・同意文書の変更に基づき、引き続き治験を継続して行うことの妥当性について審議した。  
審議結果：承認

議題 22 MSD 株式会社の依頼による肝細胞癌を対象とした MK-7902 (E7080) と MK-3475 の第Ⅲ相試験 (受付番号：1901)

安全性情報等に関する報告書に基づき、引き続き治験を継続して行うことの妥当性について審議した。  
治験実施計画書別紙、添付文書の変更に基づき、引き続き治験を継続して行うことの妥当性について審議した。

審議結果：承認

議題 23 MSD 株式会社の依頼による肝細胞がん患者を対象とした MK-3475 の第Ⅲ相試験 (受付番号：1923)

安全性情報等に関する報告書に基づき、引き続き治験を継続して行うことの妥当性について審議した。  
治験実施計画書別紙、添付文書の変更に基づき、引き続き治験を継続して行うことの妥当性について審議した。

審議結果：承認

議題 24 中外製薬株式会社の依頼による加齢黄斑変性患者を対象とした Faricimab の第Ⅲ相試験 (受付番号：1906)

安全性情報等に関する報告書に基づき、引き続き治験を継続して行うことの妥当性について審議した。

審議結果：承認

議題 25 中外製薬株式会社の依頼による糖尿病黄斑浮腫患者を対象としたファリシマブの継続投与試験 (第Ⅲ相) (受付番号：2029)

安全性情報等に関する報告書に基づき、引き続き治験を継続して行うことの妥当性について審議した。

審議結果：承認

議題 26 中外製薬株式会社の依頼による加齢黄斑変性患者を対象としたファリシマブの継続投与試験 (第Ⅲ相) (受付番号：2108)

安全性情報等に関する報告書に基づき、引き続き治験を継続して行うことの妥当性について審議した。

審議結果：承認

議題 27 バイオジェン・ジャパン株式会社の依頼による大脳半球梗塞患者を対象とした BIIB093 (グリベンクラミド) の第Ⅲ相試験 (受付番号：1908)

安全性情報等に関する報告書に基づき、引き続き治験を継続して行うことの妥当性について審議した。

審議結果：承認

議題 28 アステラス製薬株式会社の依頼による Zolbetuximab の第Ⅱ相試験 (受付番号：1911)

安全性情報等に関する報告書に基づき、引き続き治験を継続して行うことの妥当性について審議した。  
治験実施計画書別紙、モニター指名記録の変更に基づき、引き続き治験を継続して行うことの妥当性について審議した。

審議結果：承認

議題 29 日本イーライリリー株式会社の依頼による重症又は極めて重症の円形脱毛症を有する患者を

対象としたバリシチニブ(LY3009104)の第Ⅲ相試験(受付番号:1914)

安全性情報等に関する報告書に基づき、引き続き治験を継続して行うことの妥当性について審議した。  
治験実施計画書別冊の変更に基づき、引き続き治験を継続して行うことの妥当性について審議した。

審議結果:承認

議題 30 アストラゼネカ株式会社の依頼による肝細胞癌患者を対象としたDurvalumabの第Ⅲ相試験(受付番号:1916)

安全性情報等に関する報告書に基づき、引き続き治験を継続して行うことの妥当性について審議した。

審議結果:承認

議題 31 インサイト・バイオサイエンシズ・ジャパン合同会社の依頼による切除不能又は転移性の胆管癌患者を対象とした INCB054828 の第Ⅲ相試験(受付番号:1919)

安全性情報等に関する報告書に基づき、引き続き治験を継続して行うことの妥当性について審議した。  
治験薬概要書の変更に基づき、引き続き治験を継続して行うことの妥当性について審議した。

審議結果:承認

議題 32 ファイザー株式会社の依頼による、円形脱毛症患者を対象とした PF-06651600 の長期第Ⅲ相試験(受付番号:1920)

安全性情報等に関する報告書に基づき、引き続き治験を継続して行うことの妥当性について審議した。

審議結果:承認

議題 33 ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社の依頼による活動性潰瘍性大腸炎患者を対象とした Ozanimod(RPC1063)の第Ⅱ/Ⅲ相試験(受付番号:1922)

安全性情報等に関する報告書に基づき、引き続き治験を継続して行うことの妥当性について審議した。  
同意説明文書の変更に基づき、引き続き治験を継続して行うことの妥当性について審議した。

審議結果:承認

議題 34 メルクバイオフーマ株式会社の依頼による bintrafusp alfa (M7824) 又はプラセボとゲムシタビン及びシスプラチンを併用投与する未治療の胆道癌患者を対象とした第Ⅱ/Ⅲ相試験(受付番号:1924)

治験薬概要書の変更に基づき、引き続き治験を継続して行うことの妥当性について審議した。

審議結果:承認

議題 35 バイエル薬品株式会社の依頼による急性非心原性虚血性脳卒中発症後の患者を対象に BAY 2433334 の有効性及び安全性を検討する多施設共同、無作為化、プラセボ対照、二重盲検、並行群間比較、用量設定第Ⅱ相試験(受付番号:2001)

安全性情報等に関する報告書に基づき、引き続き治験を継続して行うことの妥当性について審議した。

審議結果:承認

治験が終了したことを報告した。

議題 36 MSD 株式会社の依頼による MK-3475 の治験に参加した進行悪性腫瘍患者を対象とした多施設共同非盲検第Ⅲ相継続試験(受付番号:2003)

治験期間が1年を超えるため、引き続き治験を継続して行うことの妥当性について審議した。

審議結果:承認

議題 37 ヤンセンファーマ株式会社の依頼による中等症から重症の活動期のクローン病患者を対象とするグセルクマブの有効性及び安全性評価を目的とした第 II/III 相, ランダム化, 二重盲検, プラセボ及び実薬対照, 並行群間比較, 多施設共同試験 (受付番号: 2005)

安全性情報等に関する報告書に基づき、引き続き治験を継続して行うことの妥当性について審議した。治験薬概要書、被験者の募集の手順(広告等)に関する資料、ウェルカムブックレット、Dear Patient letter の変更に基づき、引き続き治験を継続して行うことの妥当性について審議した。

審議結果：承認

議題 38 ヤンセンファーマ株式会社の依頼による肺動脈性肺高血圧症を対象とした ACT-064992D の第 III 相臨床試験 (受付番号: 2008)

安全性情報等に関する報告書に基づき、引き続き治験を継続して行うことの妥当性について審議した。

審議結果：承認

議題 39 MSD 株式会社の依頼による胆道癌患者を対象とした MK-3475 の第 III 相試験 (受付番号: 2010)

安全性情報等に関する報告書に基づき、引き続き治験を継続して行うことの妥当性について審議した。治験実施計画書別紙の変更に基づき、引き続き治験を継続して行うことの妥当性について審議した。

審議結果：承認

議題 40 サノフィ株式会社の依頼による非小細胞肺癌患者を対象とした SAR408701 の第 III 相試験 (受付番号: 2013)

安全性情報等に関する報告書に基づき、引き続き治験を継続して行うことの妥当性について審議した。説明文書・同意文書の変更に基づき、引き続き治験を継続して行うことの妥当性について審議した。

審議結果：承認

議題 41 日本イーライリリー株式会社の依頼によるクローン病患者を対象とした LY3074828 の第 III 相試験 (受付番号: 2015)

安全性情報等に関する報告書に基づき、引き続き治験を継続して行うことの妥当性について審議した。

審議結果：承認

議題 42 第一三共株式会社の依頼による DS-1001b の第 II 相試験 (受付番号: 2016)

治験実施計画書、治験実施計画書別紙、説明文書・同意文書の変更に基づき、引き続き治験を継続して行うことの妥当性について審議した。

審議結果：承認

議題 43 エーザイ株式会社の依頼による胆管癌患者を対象とした E7090 の第 2 相試験 (受付番号: 2018)

安全性情報等に関する報告書に基づき、引き続き治験を継続して行うことの妥当性について審議した。治験実施計画書、治験実施計画書別紙の変更に基づき、引き続き治験を継続して行うことの妥当性について審議した。

審議結果：承認

議題 44 MSD 株式会社の依頼による高リスクの局所進行子宮頸癌患者を対象とした MK-3475 と同時化学放射線療法の併用療法及び同時化学放射線療法の単独療法の第 III 相試験 (受付番号: 2021)

安全性情報等に関する報告書に基づき、引き続き治験を継続して行うことの妥当性について審議した。添付文書、説明文書および同意文書の変更、レターの追加に基づき、引き続き治験を継続して行うこと

の妥当性について審議した。

審議結果：承認

議題 45 大鵬薬品工業株式会社の依頼による肝内胆管がん患者を対象とした TAS-120（フチバチニブ）の第Ⅲ相試験（受付番号：2025）

安全性情報等に関する報告書に基づき、引き続き治験を継続して行うことの妥当性について審議した。

説明文書・同意文書の変更に基づき、引き続き治験を継続して行うことの妥当性について審議した。

審議結果：承認

議題 46 マルホ株式会社の依頼による nemolizumab の結節性痒疹患者に対する第Ⅱ/Ⅲ相試験—比較/長期継続投与試験—（受付番号：2026）

安全性情報等に関する報告書に基づき、引き続き治験を継続して行うことの妥当性について審議した。

審議結果：承認

議題 47 バイエル薬品株式会社の依頼によるバイエルが治験依頼者として実施した先行試験に組み入れられた被験者にダロルタミドを継続投与する非盲検、単一群、ロールオーバー試験（第Ⅳ相）（受付番号：2031）

製造販売後臨床試験実施計画書別紙の変更に基づき、引き続き治験を継続して行うことの妥当性について審議した。

審議結果：承認

議題 48 小野薬品工業株式会社の依頼による第Ⅰ相試験（受付番号：2101）

安全性情報等に関する報告書に基づき、引き続き治験を継続して行うことの妥当性について審議した。

説明文書・同意文書の変更に基づき、引き続き治験を継続して行うことの妥当性について審議した。

審議結果：承認

議題 49 アレクシオンファーマ合同会社の依頼によるギラン・バレー症候群（GBS）患者を対象とした Eculizumab の第 3 相試験（受付番号：2103）

安全性情報等に関する報告書に基づき、引き続き治験を継続して行うことの妥当性について審議した。

治験期間が 1 年を超えるため、引き続き治験を継続して行うことの妥当性について審議した。

審議結果：承認

議題 50 富士フイルム富山化学株式会社の依頼による発症早期 COVID-19 患者を対象としたファビピラビルの臨床第Ⅲ相試験（受付番号：2104）

治験が終了したことを報告した。

議題 51 中外製薬株式会社の依頼による第Ⅰ/Ⅱ相臨床試験（受付番号：2107）

安全性情報等に関する報告書に基づき、引き続き治験を継続して行うことの妥当性について審議した。

説明文書・同意文書の変更、治験薬概要書補遺の追加に基づき、引き続き治験を継続して行うことの妥当性について審議した。

審議結果：承認

議題 52 ヤンセンファーマ株式会社の依頼による中等症から重症の活動期の潰瘍性大腸炎患者を対象とするグセルクマブの有効性及び安全性評価を目的とした第 2b/3 相、ランダム化、二重盲検、プラセ

ボ対照，並行群間比較，多施設共同試験（受付番号：2109）

安全性情報等に関する報告書に基づき、引き続き治験を継続して行うことの妥当性について審議した。治験薬概要書、治験実施計画書別冊の変更、同意説明文書の補遺の追加に基づき、引き続き治験を継続して行うことの妥当性について審議した。

審議結果：承認

議題 53 アレクシオンファーマ合同会社の依頼によるトリガーを有する血栓性微小血管症を対象としたラブリズマブの第Ⅲ相試験（受付番号：2110）

安全性情報等に関する報告書に基づき、引き続き治験を継続して行うことの妥当性について審議した。治験実施計画書国内における追加事項、治験実施計画書国内における追加事項別紙の変更に基づき、引き続き治験を継続して行うことの妥当性について審議した。

審議結果：承認

議題 54 株式会社ファンペップの依頼による皮膚潰瘍患者を対象とした SR-0379 の第 3 相試験（受付番号：2111）

治験実施計画書別紙の変更に基づき、引き続き治験を継続して行うことの妥当性について審議した。

審議結果：承認

議題 55 小野薬品工業株式会社の依頼による第 I 相試験（受付番号：2113）

安全性情報等に関する報告書に基づき、引き続き治験を継続して行うことの妥当性について審議した。説明文書・同意文書の変更に基づき、引き続き治験を継続して行うことの妥当性について審議した。

審議結果：承認

議題 56 IQVIA サービスーズ ジャパン株式会社（治験国内管理人）の依頼による活動性乾癬性関節炎患者を対象としたチルドラキズマブの第 3 相試験（受付番号：2114）

安全性情報等に関する報告書に基づき、引き続き治験を継続して行うことの妥当性について審議した。

審議結果：承認

議題 57 ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社の依頼による関節症性乾癬患者を対象とした BMS-986165 の第Ⅲ相試験（受付番号：2116）

安全性情報等に関する報告書に基づき、引き続き治験を継続して行うことの妥当性について審議した。治験実施計画書別紙の変更に基づき、引き続き治験を継続して行うことの妥当性について審議した。

審議結果：承認

議題 58 サイネオス・ヘルス・クリニカル株式会社（治験国内管理人）の依頼による第 I / II 相試験（受付番号：2119）

安全性情報等に関する報告書に基づき、引き続き治験を継続して行うことの妥当性について審議した。

審議結果：承認

議題 59 武田薬品工業株式会社の依頼による中等症から重症の潰瘍性大腸炎又はクローン病を有する日本人患者を対象としたベドリズマブ静注製剤の第 3 相試験（受付番号：2120）

当院で発生した重篤な有害事象について、引き続き治験を継続することの妥当性について審議した。安全性情報等に関する報告書に基づき、引き続き治験を継続して行うことの妥当性について審議した。

審議結果：承認

議題 60 大鵬薬品工業株式会社の依頼による TAS-115 (pamufetinib) の第 II 相用量反応試験 (受付番号: 2121)

安全性情報等に関する報告書に基づき、引き続き治験を継続して行うことの妥当性について審議した。添付文書、説明文書・同意文書、服用日誌の変更に基づき、引き続き治験を継続して行うことの妥当性について審議した。

審議結果: 承認

議題 61 ノバルティスファーマ株式会社の依頼によるループス腎炎患者を対象とした AIN457 の第 III 相試験 (受付番号: 2123)

安全性情報等に関する報告書に基づき、引き続き治験を継続して行うことの妥当性について審議した。治験実施計画書の変更、リーフレットの追加に基づき、引き続き治験を継続して行うことの妥当性について審議した。

審議結果: 承認

議題 62 MSD 株式会社の依頼による MK-3475 の治験に参加した進行悪性腫瘍患者を対象とした多施設共同非盲検第 III 相継続試験 (受付番号: 2124)

説明文書および同意文書の変更、レターの追加に基づき、引き続き治験を継続して行うことの妥当性について審議した。

審議結果: 承認

議題 63 自ら治験を実施する者 (駒形嘉紀) が実施する、顕微鏡的多発血管炎および多発血管炎性肉芽腫症に対するトシリズマブの有効性、安全性、薬物動態に関する医師主導治験 (第 II 相) (受付番号: 1829)

安全性情報等に関する報告書に基づき、引き続き治験を継続して行うことの妥当性について審議した。治験実施計画書の変更に基づき、引き続き治験を継続して行うことの妥当性について審議した。

審議結果: 承認

議題 64 自ら治験を実施する者 (長島文夫) が実施する、ON0-4538 と E7080 の第 I/II 相試験 (医師主導治験) (受付番号: 2004)

治験実施計画書別冊、添付文書の変更、治験薬概要書補遺の追加に基づき、引き続き治験を継続して行うことの妥当性について審議した。

モニタリング報告書に基づき、引き続き治験を継続して行うことの妥当性について審議した。

審議結果: 承認

治験が終了したことを報告した。

議題 65 自ら治験を実施する者 (尾崎峰) が実施する、静脈奇形に対するモノエタノールアミンオレイン酸塩を用いた硬化療法の有効性および安全性を評価する多施設共同非盲検単群試験 (受付番号: 2017)

治験分担医師の変更に基づき、引き続き治験を継続して行うことの妥当性について審議した。

審議結果: 承認

議題 66 自ら治験を実施する者 (須並英二) が実施する、血中循環腫瘍 DNA 陽性の治癒切除後結腸・直腸がん患者を対象とした FTD/TPI 療法とプラセボとを比較する無作為化二重盲検第 III 相試験 (受付番号: 2023)

安全性情報等に関する報告書に基づき、引き続き治験を継続して行うことの妥当性について審議した。  
治験分担医師の変更にに基づき、引き続き治験を継続して行うことの妥当性について審議した。

審議結果：承認

議題 67 自ら治験を実施する者（伊波巧）が実施する、慢性血栓塞栓性肺高血圧症を対象としたエドキサバンの有効性及び安全性を検証するワルファリン対照、多施設共同ランダム化比較試験 第Ⅲ相医師主導治験（受付番号：2028）

安全性情報等に関する報告書に基づき、引き続き治験を継続して行うことの妥当性について審議した。

審議結果：承認

議題 68 自ら治験を実施する者（長島文夫）が実施する、膀胱癌患者を対象とした S-1 併用化学放射線療法＋ニボルマブの第Ⅲ相試験（医師主導治験）（受付番号：2032）

安全性情報等に関する報告書に基づき、引き続き治験を継続して行うことの妥当性について審議した。

審議結果：承認

議題 69 自ら治験を実施する者（中冨浩文）が実施する、神経線維腫症Ⅱ型に対するベバシズマブの有効性及び安全性を検討する多施設共同二重盲検無作為化比較試験（受付番号：2102）

安全性情報等に関する報告書に基づき、引き続き治験を継続して行うことの妥当性について審議した。

モニタリング報告書に基づき、引き続き治験を継続して行うことの妥当性について審議した。

審議結果：承認

議題 70 自ら治験を実施する者（石井晴之）が実施する、限局型小細胞肺癌患者に対して、化学放射線療法と化学放射線療法にアテゾリズマブを併用する療法の有効性を比較するランダム化第Ⅲ相試験（NRG-LU005）（受付番号：2117）

治験薬概要書の変更、治験薬概要書補遺の追加に基づき、引き続き治験を継続して行うことの妥当性について審議した。

モニタリング報告書に基づき、引き続き治験を継続して行うことの妥当性について審議した。

審議結果：承認

以上